



公益社団法人  
宮城県芸術協会  
(郵便番号 980-0802)  
仙台市青葉区二日町16-1  
二日町東急ビル5-B  
電話 (022) 261-7055  
FAX (022) 214-5184  
E-mail:miyagi-geikyo@sunny.ocn.ne.jp  
発行者 雫石 隆子

昭和40年1月創刊された「はなやま」の題号は、芸術協会の創設が、昭和39年5月9日に宮城県花山村(現栗原市花山)の湖畔亭で開かれた会合で決まったことにちなんで付けられました。

### 「雫石体制」2期目スタート

役員改選期、理事長に再び選出  
定時総会、理事会、異例の形で開催

令和2年度の宮城県芸術協会定時総会と第2回理事会が6月8日、当協会会議室で開かれた。

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、出席人数を絞り、役員候補者に限定する異例の形で開催された総会で、新役員の承認など2議案を可決。新役員の承認を受け、総会に引き続き開かれた理事会で、雫石隆子理事長を再度トップに選出した。

理事会には理事16人と監事2人が出席(理事1人欠席)。理事長選挙は17人の全理事を対象に実施し、雫石理事長が1回の投票で再選された。執行理事は理事長を除く理事16人を対象に「5名連記」方式で投票を行い、常任理事会の新たな構成メンバーを決めた。雫石理事長は「コロナ禍は終息していないが、適切な運営に

尽くしたい」と、緊急時、転換期の難局に臨む決意を語った。

理事会に先立って開かれた総会では、司会の吉田利弘執行理事が委任状提出による代理出席の会員を含め、出席者数が1376名で総会成立の定足数(会員1976名の過半数)を満たしていることを報告。雫石理事長のあいさつに続いて、前絵画部長の及川英之会員を議長に議事を進めた。

報告は令和2年度事業計画及び収支予算に関する



議案を可決承認した定時総会

する1件。定款に基づき前年度末の第4回理事会で承認され、既に事業が執行されている旨の説明があった。

議案は第1号「令和元年度事業報告及び収支決算の承認」、第2号「役員を選任」の2件。第1号議案も既に理事会で承認されており、佐藤光郎、岡本勝両監事が適正に執行されている旨の監査報告を行った。質疑、採決の結果、2議案とも可決、承認された。

### 役員名簿

- ◇新役員(敬称略。太字は新任。カッコ内は担当)
- 【理事長】雫石隆子
- 【執行理事】吉田利弘(総括)、佐藤皖山(事業)、渡部勝彦(同)、菅原宗初(財務)、西村一観(同)
- 【理事】浅野治志、一力雅彦、及川英之、太田蓮紅、岡崎宗豊、落合英俊、亀井文行、佐藤淳一、建部恭子、坂内佳禰、若柳梅京
- 【監事】岡本勝、佐藤光郎

令和2年度の定時総会は6月8日、新型コロナウイルス感染防止対策の一環で委任状出席を前提とする異例の形で開催し、議案を承認いただき

また、本年度は役員改選期に当たり、総会に続いて第2回理事会を開き、新執行部が選出された。変革を求められる難しい時期での理事長再任となり、不安もよぎりますが、大任の覚悟を新たにいたしました。

## 難局下の芸術祭 底力発揮を

宮城県芸術協会理事長 雫石 隆子



合わせました。イベントが軒並み、中止や延期を強いられ、芸術協会の真価が問われる局面です。在野にあって56回、これまで1回も休止することなく県芸術祭を運営してきた実績を誇りとし、底力として一致結束、開催にまい進してまいります。

2年前の就任時に事業刷新を呼び掛けましたが、本年度は河北新報社との連携の下、2件の新事業がスタートいたします。装い一新の写真展と新規の工芸展で、それぞれ展覧が彩りも豊かに船出し、私たちの未来を明るく照らすことを期待いたします。

事業の更なる充実と組織の発展に向けて、新しく寄付口座を開設いたしました。創設60年の節目も迫り、記念事業の検討も視野に入ってきております。皆さまを取り巻く環境が厳しさを増す時期柄、誠に恐縮ではございますが、1万円を一口に、芸術文化への熱い想いをお寄せいただきたく、よろしく申し上げます。

令和2年度は、芸術祭の準備が本格化し、6月15日に宮城県芸術祭委員会を開催。共催8団体は情報共有を図りながら、芸術文化の灯を守って県民の心に希望や明るさを提供することを確認し、開催を決定いたしました。

6月29日には部長会議(芸術祭実行委員会)を招集。事務局がまとめた芸術祭ガイドラインを基に、実施の方向を最終決定。「3密」回避等が困難な一部事業につきましては、見送らざるを得ない状況でございますが、工夫を重ねてハードルを乗り越えることを申し

# 芸術祭開催の方向 県芸術祭委員会で確認

## コロナ禍の推移見極めつつ

令和2年度の宮城県芸術祭について、当協会をはじめとする共催8団体の代表者らが協議する「第57回宮城県芸術祭委員会」が6月15日、芸協会議室で開かれた。新型コロナウイルス感染の先行きに不透明感は拭えず、開催に危うさが付きまとう状況下での委員会。それでも「緊急事態宣言」が解除され、宮城県内での感染状況に一定の落ち着きが見られることから、当面、開催の方向で諸準備を進めることを了承した。



実施を確認した宮城県芸術祭委員会

委員会には会長兼実行委員長の峯石理事長のほか、県、仙台市、河北新報社など共催団体で構成する各役員が出席した。理事長のあいさつに続いて、令和元年度「第56回宮城県芸術祭」の事業及び収支について報告。中心議題の本年度の芸術祭への対応について協議した。

当該年度の事業計画及び収支予算については例年、「実施を前提」とし、内容に関しても実施主体となる当協会の示す案を了解するにとどまっていた。ただ、今回はコロナ禍が尾を引き、開催に向けて太鼓判を押し難い特異な環境下での判断だけに、慎重な対応が求められた。

協議の結果、コロナ感染の推移を慎重に見定めつつ、実施に向けて準備することを「異議なし」として申し合わせた。ただ、感染が終息したわけではなく、新たな波が襲来し、再び感染が

広がる懸念もあるだけに、「3密」解消への目配りを尽くすといった防止対策の徹底を条件に明示。事業運営についても、中止の決断を含めて、従来の内容、形にこだわらず、迅速、柔軟に対応していく方針を決めた。

今後の展開次第で中止となる事態も想定しながら、明確に開

### 芸術祭実施の原則 申し合わせ 令和2年度第1回部長会議

第57回宮城県芸術祭について、実行部隊が詰めの検討を進める令和2年度第1回部長会議が6月29日、芸協会議室で開かれた。イベント実施の決定機関、宮城県芸術祭委員会での方向付けを受けて、各々が意見を交換し、新型コロナウイルスの感染防止を前提に、原則として事業実施の方向を確認するとともに、防止対策徹底の難易度に応じ、各々が最終的に開催の是非を判断することを申し合わせた。

今回の部長会議は「芸術祭実行委員会」の性格を持ち、実施可否を決定的に左右する協議の場。会議で大方、実施を確認したことにより、開催準備が本格的に動き出すことになる。

部長会議は通常、各部の部長、

副部長の複数が出席するが、コロナ対策で可能な限り「3密」を回避するため、部長ら（代理を含む）各部1人の出席とし開会。事業担当の佐藤皖山執行理事の説明を基に、議事を進めた。

佐藤執行理事は「実施を基本としつつ、具体の催事は各部の自主的判断にゆだねる」との方針を示し、コロナ対策を念頭に「従来の内容にとらわれない柔軟な対応」を求めた。

また、コロナ感染へのリスク軽減を図る必要があることから、展示部門の搬入・搬出作業で密な状況を招かない対応として搬入、搬出日を設け、展示期間を6日から4日に短縮する等の見直し案を提示。茶会、舞台系イベントについては、もう一

催の方向を打ち出した背景には、芸術文化関係の催事の中止や延期が相次ぎ、そうした分野の活動の停滞と基盤の弱体化が進むことへの深い憂慮がある。もとより、無理は厳に慎みながら、会員ら芸術家及び愛好家らに對して、活動の機会を提供し、宮城における芸術文化の振興発展

への寄与が続けていく思いの強さを示したと言える。

芸術祭委員会での決定を受けて、当協会は6月29日、各部長らによる部長会議（実行委員会）を開き、方針を伝達。各々が使命の自覚とともに「コロナ時代」における事業の在り方を模索、決定していくことを確認した。

段の難しさが強調された。

各部長は協会の打ち出した考え方を了承。展示系の催事は開催とし、今後、事務局との調整の下、部内で詳細を詰める。音楽会は所管副部長が中止決定を報告、密が避けられない茶会も部長が同様の考えを示唆した（7月10日の運営委員会で中止を決定）。

先行き不透明で、経験を生かす難い環境下での芸術祭となるだけに、緊張感に包まれた会議となった。ただ、面倒な事態に立ちすくんでいては、芸協が自らに課した芸術文化の振興発展の使命を果たせず、コロナ禍以前の厳しい状況も打開できない。無理を排除しつつ事業に取り組む姿勢は、けん引役としての芸術協の評価を高めよう。組織の存在価値と何より会員個々の意識が問われる局面にあることを胆に銘じ、本番に臨みたい。



河北新報社との連携公募展の開催に向けて、準備が粛々と進んでいる。新型コロナウイルス感染症の拡大で、出はなをくじかれた側面もあるが、所管する写真部、工芸部は、先行きを占う「第1回展」の成功を期し、精力的に取り組んでいる。

# 連携公募展の準備、粛々と コロナ禍の進展 注視をしながら

連携公募展は、宮城県芸術祭写真公募展を存続展とし河北写真展と一体、統合させる形で、スケールアップして始まる「フォトサミット in Sendai 2020」と、河北工芸展を継承し、当協会工芸部との連携により、新規事業としてスタート

する「杜のみやこ工芸展」の二つ。両事業とも既に河北の担当者を含めた実行委員会を立ち上げ、開催要項を決定した。写真展は会員対象の芸術祭写真展に合わせて9月26～29日、せんだいメディアテークで開催する。「新しいレジェンドとの出会い」がうたい文句。「1+1」の効果で「2」以上に引き上げる統合の力を端的で切れのいいフレーズに練り上げた。県芸術祭の一環のため、写真展の主催は当協会、河北新報社を軸に芸術祭共催の8団体。河北写真展の遺産を引き継ぎ東北各県等の後援、JAL等の協賛を得ている。審査員として写真家の赤城耕一氏を招き、格の向上にも努める。

応募資格はプロアマ問わず、全国の写真愛好家が対象。テーマは部門Ⅰ「自由部門」と部門Ⅱ「東北の音」の二つで構成し、部門Ⅱに東北をエリアとする河北の名残をとどめる。各部門の大賞として、部門Ⅰは「フォトサミット in Sendai 大賞」、部門Ⅱは「河北新報社賞」を最高賞に従来の賞を継承する。応募締め切りは7月末。工芸展は会員対象の芸術祭工芸展に合わせて11月5～9日、TFUギャラリーミニモリで開催する。催事の自由度を高めるため、県芸術祭の枠外に位置付けた。開場式等も実施する。主催は当協会と河北新報社をメインに、(公財)河北文化事業団、(公財)県文化振興財団との4団体。JALが特別協賛し、東北6県のほか、芸術祭の主催団体などが後援する。審査員は河北工芸展から引き続き務めることになる漆芸作家・現代工芸美術家協会の杏澤則雄と、工芸評論家・多摩美大教授の外館和子の2氏。

全国公募とし、資格は高校生以上。種別は広く、工芸のあらゆる分野を対象とする。賞はほぼ河北工芸展を引き継ぎ、「杜のみやこ工芸展大賞(宮城県芸術協会賞)」を最高賞に、30歳以下の新人賞を新たに設ける。河北工芸展を基盤とし、協会の中核的な会員が運営に協力してきたとはいえ、工芸部が全面的に関わる新規の事業だけに、期待が膨らむ一方で緊張感が漂う。事業の実施はコロナ禍の状況が膨らむ一方、影響を受ける。審査や公募展自体の開催の可否を含めて影響を受ける。「3密」回避のため、写真展は作品の搬入搬出日を設け、展示期間を6日から4日に短縮した。

## 実行、企画委員長 新公募展に期待と手応え

写真と工芸、二つの連携公募展の責任者に佳境を迎えた準備の現状と「第1回展」への意気込みを聞いた。

準備の進み具合は。

応募規定、開催要項が決定し、応募も始まっています。7月31日締め切りで、8月7日は審査が行われます。楽しみです。9月26日の開幕に向けて約2カ月。多少の緊張と心地よい興奮を感じながらの日々となります。

コロナ禍の影響は。

気になっている余裕はありませんでした。すべき準備を粛々とですね。あとは開幕を前に土壇場で「第2波」に見舞われることのないよう祈るだけです。応募状況はいかがですか。

準備の現状は。

初めてのことが、当初、戸惑いもありましたが、工芸部の皆さんの協力でおおむね順調に進んでいます。主催、特別協賛、協力、後援の体制も整い、各賞も河北工芸展を継承する形で決着。応募規定、開催要項が決まり、応募も始まりました。

残された課題は。

準備に十分、時間をかけましたから、11月の開催へ、特段、心配はありません。ただ、秋口以降、コロナがどう展開するか。新規事業への思いは。

## 東北の「写真新時代」を

佐々木光一 実行委員長 (前執行理事)

自粛ムードの中での盛り上がり、反響の多寡が気掛かりでしたが、おおむね順調のようです。芸術祭写真公募展と河北写真展が合体した「第1回展」ですから、その結果が問われます。公募展への期待を一言。東北は言うに及ばず、日本を代表する写真展に育てたいと、思っています。芸術家集団とメディアが培った力を結集すれば、成果は自ずと得られましょう。「新しいレジェンドとの出会い」に心躍る思いです。

## 杜の都に「工芸の花」を

樋田隆 企画委員長 (工芸部長)

河北工芸展の伝統と遺産を引き継ぐ重圧を感じつつの作業でしたが、「杜のみやこ工芸展」のタイトル通り、杜の都に「工芸の花」を咲かせたい一心でやってきました。部にとっても個人にとっても、「引き受けてよかった」と言い切れる公募展に仕上げたいと思っています。公募展の目指す方向は。宮城、東北の工芸界を活気づかせる催事に育ってほしい。舞台づくりに携わり、それなりに手応えを感じています。

# 催事の中止続く

## 尾を引く新型コロナの影響

新型コロナウィルス感染症拡大の影響が尾を引いて、計画した事業やイベントの中止、延期が続いている。

当協会が加盟する東北・北海道芸術文化団体協議会が6月11日に盛岡市のメトロポリタン盛岡ニューウイングで開催を予定していた総会及び交流事業は、コロナ禍の終息が見通せない状況下で、感染の防止を理由に中止となった。

「文化芸術活動における後継者育成と次世代育成について」をテーマとし、担当幹事地区の

### 日教弘宮城支部に 奨励金助成を申請

当協会は7月、公益財団法人日本教育公務員弘済会宮城支部に対して、活動奨励金助成の申請を行った。9月上旬に選考が行われ、同月中旬に採否が決定する見通し。

学術、芸術、医療、福祉、国際交流、環境保護等の各分野において、県の教育機関及び非常

岩手県芸術文化協会が同協会の「いわて芸文研修会」との併催事業に設定。各地区共通の課題解決に向けた有意義な集いになるはずだった。

総会・交流事業の中止は、決定時点での往来の自粛や感染防止の要、「3密」回避の要請に応えた措置で、テーマの目的達成に向けた情報交換は、やむなく文書やメール等の方法に切り替えられた。

宮城県芸術祭の一環で、文芸部が活動の軸に据える文芸祭も内容の変更を余儀なくされた。

利団体が2020年度内に実施する有益な研究、活動等を対象に助成する。奨励金は1件当たり、20万円。

今回、第57回宮城県芸術祭の会場賃借料に充当する形で申請した。

日教弘宮城支部が県教委に1団体の推薦を依頼。県教委が当協会の取り組みに白羽の矢を立て、応募を促した。新型コロナウィルス感染症の拡大によって、

公益性の追求と次世代育成を主目的とした文芸作品の公募を見送った。学校の休校措置が想定外の6月まで長引き、教育現場は授業遅れの対応等に迫られており、夏休みの期間短縮もあつて、作品の募集を呼び掛ける状況ではなくなったためだ。規模を縮小し、公募導入以前の内容でしのぐ方向だ。

文学散歩も10月7、8日の日程で新潟方面に向かう計画の実施が困難な状況。環境の改善状況や旅行会社の意向等も踏まえて最終決定することになる。

絵画部のスケッチ研修会は既に当初予定の5月16、17の日程で茨城県の五浦海岸を訪ねる計画の中止を決定。バスターの動向

社会教育に関わる芸術文化等の活動が相次いで見送られる中、委縮することなく、万全の感染予防措置を講じつつ、県芸術祭の開催に踏み切る当協会の積極的な対応を評価したとみられる。

県の「お墨付き」を得られたことで、事業採択は確定的と思われる。貴重な財源として、芸術祭事業に組み入れられることになる。

を見定め、秋以降の実施可能性を探る方向だが、厳しい状況だ。

本年度の事業については、伝統文化体験事業「第24回杜の大茶会」(5月30、31日、仙台市・勾当台公園)と、会員研修の趣旨で定時総会に合わせて計画された恒例の「講演会」(6月7日、仙台市福祉プラザ)が中止されている。

### 「特別演奏会」も中止 子どもへの期待に沿えず

当協会音楽部が「宮城県芸術祭・音楽コンクール(ピアノ部門・ヴァイオリン部門)」の本選中止に伴って、「ガラ・コンサート」の代替イベントとして企画した特別演奏会が中止に追い込まれた。最終決定の時点で、

患状況が穏やかになりつつあったものの、新型コロナウィルス感染症への警戒感を緩められる状況に至らなかつたためだ。

特別演奏会は、本選の見送りや落胆する子どもたちの気持ちを受け止め、練習への意欲を保つてもらう一助にとの願いを込めて、ぎりぎりの判断で急きょ企画された事業。「第57回宮城県芸術祭」の一環に位置づけ、9月6日に日立システムズ

いったん収まりかけたようにみえたコロナ禍は、「緊急事態宣言」の解除や県境越えを含め往來の制限が解かれたこと等により、東京圏を中心に再び拡大しつつある状況。恐れていた第2波が指摘され始めており、本年度は多くの事業を計画に沿って実施できない特異な年と位置付けられることになりそうだ。

ホール仙台で予定されていた。保護者らの賛同を得られ、多くの参加希望が寄せられていた。もともと開催断念のリスクを排除できない中で、多分に危うさを抱えた企画で、結局は参加希望者の期待に沿えず、二度も残念な思いを強いる形となつてしまった。

ただ、音楽を学ぶ「子ども目線」で、最後まで演奏機会の提供可能性を追い求めた対応は、理解はできよう。コンクールに携わる音楽部の関係者の意図は、参加予定者らにも伝わったのではないか。

子どもたちの心のアフターケアに努めるとともに、年明け後に予定する本年度の音楽コンクールの実施に向けて、最善の準備を進め、2年分の思いを乗せた盛大なイベントになるよう祈念したい。



# 安定感を推進力に 執行理事抱負熱く

本年度第2回理事会（6月8日）で新執行理事が選出された。5人のうち4人が重任（再任）で、重厚感、安定感のある布陣。40代、フレッシュユナ1人は新たな重責に決意も固い。2期目の栗石隆子理事長を支える総括、事業、財務の各担当執行理事に抱負を聞いた。



台、照  
エは音  
楽、舞  
た。めてき

20代からバレエ教室を主宰し、現在も多くの生徒を抱えて多忙な日々が続く。芸協への入会は、去年の4月。50代のいま、満を持しての参加である。仙台市出身。バレエに引き寄せられたのは3歳頃。いつしか「この道しかない」と、寄り道することなく歩みを進めてきた。

## バレエは総合芸術

舞踊部（洋舞）辻 真弓さん（仙台市）

明、衣装などの同時進行による総合芸術。また「天上崇拜」が大きく横たわり、トウシューズはその象徴なのだという。活動は多彩。芸術へのあくなき探求と併せて次代に向けた子どもたちへの指導が中心だが、各種イベントの振り付けも。「舞

台に関わっている時が至福」。まさに「バレエ命」の日常だ。鑑賞者側の意識の醸成も重要と心得て、常に啓蒙を意識している。

## 協会の未来

### 「若手」登場

女性の躍進が目覚ましい。本年度、書道部から新理事に2人そろって就任。自身、新運営委員として活躍の場を広げる。「女性会員が多いですから。できることを精いっぱい務めたいです」と淡々と抱負を語る。



と抱負  
と淡々  
です」  
い務め  
るだけ  
だけ

## 広く深い墨の世界

書道部 千葉四帆さん（仙台市）

仙台市出身。家族の影響で幼い時から書に親しみ、二十歳の頃、本格的に習い始めた。才気煥発。早々、河北書道展で相次ぎ特選に輝いた。東北学院大卒業後、会員に推薦された。手掛けるのは「墨象」。書の世界の多様性を象徴する分野

だ。文字などイメージを表現した抽象画の印象。奥は深い。漢字やかなといった作品とは異なり、力強さ、躍動感、濃淡などは独特。墨によるダイナミックで単色を超えた色彩感が不思議な魅力を醸し出す。「手本がなく自由に書けるのが楽しくて。同じ作品は二つとありません」。偶然に左右される側面があるだけに、集中力が試される。才能と実績に甘えることなく、さらなる高みを目指し、歯科医院を営む夫を手伝う傍ら、時間を見つけては筆を執る。

若々しい51歳。書の価値を次代に引き継ぐ思いは強い。作品と向き合う姿勢はしなやかで、部門を超えたコラボレーションにも関心を寄せる。新風を吹き込んでくれるに違いない。

## 県民の心に光生む力に

吉田利弘執行理事（総括・絵画部）

イタリアの病院屋上から日本女性音楽家の演奏が流れ、市民や医療従事者が癒される光景が映し出された。今年の芸術祭、環境が整わず中止もあるが、例年と異なる形でも開催し、県民の心に光を生み出そうとしている。そんな思いを支える2年間にしていきたい。

## 今、為すべき事を模索

佐藤院山執行理事（事業・邦楽部）

役員を務める中で、芸協の熟達者、前途洋々の新鋭らと横のつながりを深めました。コロナ禍にある今、次のステップに向けて何を為すべきか、自分を磨き、行政関係者、経済人らとも討議を重ねて、最良の方法を模索したいと考えています。共に頑張りましょう。

## 協会の更なる飛躍に尽力

渡部勝彦執行理事（事業・洋楽部）

執行理事に就任して7年目。これまで達成できなかったことが数多くあり、忸怩たる思いでございます。洋楽部をはじめ、コロナ禍に苦しんでいる会員皆さまの今後を案じつつ、その打開とさらなる飛躍に向けて力を尽くし、任期を全うしたいと考えております。

## 財務状況改善へ、努力

菅原宗初執行理事（財務・茶道部）

財務経験者としての力量が問われるだけに緊張感が増しています。厳しい状況を直視し、各部の理解、協力の下、改善に努めてまいります。コロナ禍、活動自粛を余儀なくされる中、皆さまの挑戦に期待し、連携事業等の成功に微力を尽くしたいと考えております。

## 若い感覚で新風吹き込む

西村一観執行理事（財務・華道部）

この度、執行理事を拝命いたしました。若輩であり、責任の重さに身の縮む思いでございますが、諸先輩方のご指導を賜りながら、若い感覚で少しでも協会の運営に新風を取り入れられるよう、精いっぱい務めてまいります。どうぞ、よろしくお願ひ申し上げます。

## 令和元年度正味財産増減計算書 [決算]

(平成31年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日)

科目	公益目的事業会計					収益事業等会計	法人会計	合計
	公 1	公 2	公 3	公益共通	公益小計			
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用益	0	0	0	1,000	1,000	0	0	1,000
受取入会金	0	0	0	760,000	760,000	0	760,000	1,520,000
受取会費	0	0	0	12,345,000	12,345,000	2,447,067	7,817,933	22,610,000
事業収益	6,098,700	120,000	0	0	6,218,700	2,657,390	0	8,876,090
受取補助金等	200,000	0	100,000	0	300,000	0	0	300,000
受取負担金	12,758,350	0	0	0	12,758,350	0	0	12,758,350
受取寄付金	144,000	0	0	130,000	274,000	0	0	274,000
雑収益	297,000	0	0	1,999	298,999	0	0	298,999
経常収益計	19,498,050	120,000	100,000	13,237,999	32,956,049	5,104,457	8,577,933	46,638,439
(2) 経常費用								
事業費	29,767,720	2,465,408	2,064,851	160,000	34,457,979	5,118,457	0	39,576,436
管理費	0	0	0	0	0	0	8,161,379	8,161,379
経常費用計	29,767,720	2,465,408	2,064,851	160,000	34,457,979	5,118,457	8,161,379	47,737,815
当期経常増減額	△ 10,269,670	△ 2,345,408	△ 1,964,851	13,077,999	△ 1,501,930	△ 14,000	416,554	△ 1,099,376
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	133,274	133,274
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	△ 133,274	△ 133,274
他会計振替額	10,281,335	2,345,408	1,964,851	△ 14,308,314	283,280	0	△ 283,280	0
当期一般正味財産増減額	11,665	0	0	△ 1,230,315	△ 1,218,650	△ 14,000	0	△ 1,232,650
一般正味財産期首残高	849,363	0	0	40,236,977	41,086,340	52,500	0	41,138,840
一般正味財産期末残高	861,028	0	0	39,006,662	39,867,690	38,500	0	39,906,190
II 指定正味財産増減の部								
一般指定財産への振替額	30,000	0	0	0	30,000	0	0	30,000
当期指定正味財産増減額	△ 30,000	0	0	0	△ 30,000	0	0	△ 30,000
指定正味財産期首残高	100,000	0	0	0	100,000	0	0	100,000
指定正味財産期末残高	70,000	0	0	0	70,000	0	0	70,000
III 正味財産期末残高	931,028	0	0	0	39,937,690	38,500	0	39,976,190

a : 公益目的事業経常費用計	b : 当年度年間全体経常費用	公益目的事業比率 (a / b)
34,457,979	47,737,815	72%

令和元年度事業報告

(1) 宮城県芸術祭の開催【公益目的事業1】 \*第56回統一テーマ「結い〜次代へ〜」

Table with 6 columns: 事業種別, 事業名, 期日, 会場, 入場者数, 作品点数・出演会員等. Rows include categories like 芸術祭全体, 展示関係事業, 演奏関係事業, etc.

(2) 芸術文化の振興に関する展覧会、講演会、研究会、発表会などの主催又は後援【公益目的事業2】

Table with 6 columns: 事業種別, 事業名, 期日, 会場, 入場者数, 作品点数・出演会員等. Rows include categories like 鑑賞機会提供事業, 伝統文化体験事業, etc.

(3) 国内及び国外との芸術文化の交流【公益目的事業3】

Table with 6 columns: 事業種別, 事業名, 期日, 会場, 入場者数, 備考. Rows include categories like 東北・北海道芸術文化団体協議会交流事業, etc.

(4) 会員の資質向上のための研修会等の実施及び調査研究並びに出版物の刊行など【他事業】

Table with 6 columns: 事業種別, 事業名, 期日, 会場, 入場者数, 備考. Rows include categories like 会員研修, 発行, etc.



# ドライブインコンサート開催

## 文化芸術創造支援事業に採択 洋楽部(ピアノ)・高橋さん企画

車の中でコンサートを楽しまう！名曲を家族で！ 洋楽部の高橋麻子さんが企画した「ドライブインコンサート」が、公益財団法人仙台市市民文化事業団の募集した多様なメディアを活用した文化芸術創造支援事業に採択された。

新型コロナウイルス感染症の

## 美術館の在り方めぐり意見交換

### 県の担当職員ら来所

宮城県美術館を所管する県教育庁生涯学習課の担当職員3人が6月4日、美術館の在り方について意見を交換するため、当協会事務所を訪れ、吉田利弘執行理事(統括・絵画部)らが対応した。

担当職員によると、芸術文化関係者から率直な意見を聞くことで、直面する県美術館の移転、他施設との集約・複合化計画など、美術館との向き合い方を考える際の参考にしていくのが訪問の趣旨。会合には事務局スタッフも同席した。

当協会としては、県美術館の移転、集約を内容とする県有施設再編問題に関して既に村井嘉浩理事あてに要望書を提出している経緯を踏まえて、事業を想

拡大に伴い、芸術活動が大きな影響を受け、イベントが軒並み中止・延期に追い込まれる中、活動の下支えを目的に同事業団が実施する助成事業。高橋さんは仙台市泉区の仙台ヒルズホテルの駐車場を会場に、感染拡大防止コンサートと銘打った演奏会を考案し、募集に応じた。

定通りに進めるか否かに関わらず、現有施設の維持、活用を図るべきとの考えを強調した。

現有施設の存続を前提として、それでも再編事業を進めるのであれば、「新美術館」の方向を見極めるため、美術関係者をはじめ幅広い県民から意向等を聞く必要があるとも指摘した。県は今後、美術に関わる芸術家らから改めて正式に意見を聞く機会を設ける意向を示した。

### 私達は芸術協会を応援します

#### 新賛助会員

(団体)

◆有限会社清泉

代表取締役 西村修太郎(一親)様

◆学校法人常盤木学園

理事長 松良千廣様

(個人)

◆麻生 靖子

◆佐藤 進

助成額は100万円。コンサートは7月25日、8月8日、9月20日の3回。開演時間は各回異なり(午後5、6、7時)。ピアノの演奏はいずれも45分。ピアノの高橋さんのほか、ヴァイオリン、フルート奏者らが出演する。乗車は家族単位。入場者は車内から生の響きを堪能する。

コロナ禍という厳しい環境下で、今回のドライブインコンサートは演奏機会の創出に向けた社会的実験であり、知恵を絞った一つの成果。行政等は支援措置を講じており、感染防止を図りつつ実現を図った今回の試みは大いに参考になるだろう。

## 事務局日誌

### 会務報告

【監事会】 4月13日

・令和元年度事業報告及び会計監査

【第1回理事会】 4月20日

・令和元年度事業報告及び収支決算の承認について

・役員候補者の推薦について

・令和2年度定時総会の開催について

・正会員の入会承認について

・賛助会員の推薦について

【定時総会】 6月8日

・令和元年度事業報告及び収支決算の承認について

・役員選任について

【第2回理事会】 6月8日

・理事長及び執行理事の選定について

・参事の推薦について

・賛助会員の推薦について

【第57回宮城県芸術祭委員会】

6月15日  
・第57回宮城県芸術祭について  
【第1回部長会議】 6月29日  
・第57回宮城県芸術祭について  
(第57回宮城県芸術祭実行委員会)

### 後援

☆高橋麻子企画感染拡大防止コンサート「ドライブインコンサート」

7月25日・8月8日・9月20日

仙台ヒルズホテル

☆第73回春光会展

8月11～16日

大崎市民ギャラリー

☆レクチャーコンサート&仙台ピアノデュオの会 創立25周年記念コンサート

8月30日

仙台銀行ホール イズミティ21

☆第33回みやぎ発明くふう展及び第24回みやぎ未来科学の夢絵画展

10月13～17日

東北電力グリーンプラザ

☆赤井靖武 木彫の世界

10月13～19日

塩釜市旧亀井邸

☆第50回宮城書芸院展併催教育部展

10月15～18日

大崎市民ギャラリー

### 受贈書

『歌集 一滴のうた』(皆川二郎)、

『句集 花林橋』(柏原眠雨)、『飛び散れ、水たち』(近江隣)、『句集 雨曜日』(広瀬ちえみ)、『歌文集 乾杯!』(原田夏子)

### 謹 弔

文芸部(短歌) 半澤 裕 殿

工芸部(染織) 佐藤陽子 殿

書道部 阿部海鶴 殿

6月23日

## けやきの譜

栗石隆子理事長が再選され、新型コロナウイルス下で2期目のスタートを切った。文化芸術にコロナの逆風は、殊の外きつい。日常を取り戻すために、辛抱強く活動を継続するしかない。▼コロナ禍で差別と格差がより露わになった。世界の1%の富裕層の資産は、残り99%の人々のそれを超えているという。富の偏在を黙認する彼ら彼女らの多くは、貧しい人々の暮らしを振り向くことはない▼世界の指導者は、こうした富裕層に寄り添うように自国第一、利益優先を標榜する。拜金主義に傾くリーダーは、口では「国民のために」と言いながら、人種や貧富の差による分断や差別を解決しようとしなない▼コロナの終息を実現するためには、世界の国々は互いに協力するのが当然と思うが、それぞれの主義やエゴがぶつかって上手くいかない▼「新しい生活様式」とは、このウイルスの感染防止のための方法で、ワケありげな言い方の背後に、「緊急事態宣言」に見える隠れていた何かと同様な、意図的に隠されているものがあるように思うのは私だけだろうか。(英)